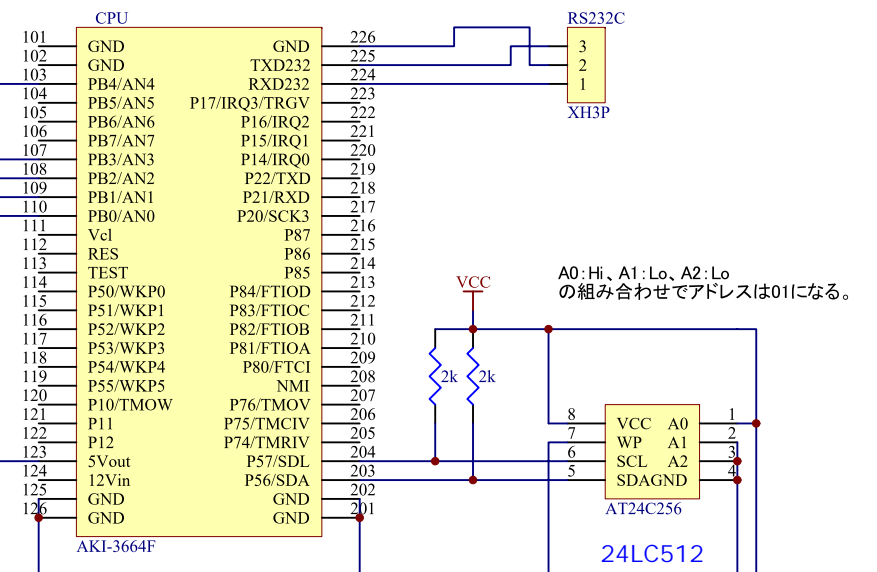


取り扱い説明
 CPU基板上のJP2 (P8-5: 秋月電子の回路図ではJP2とJP3の説明が入れ違っている)を短絡したままリセットすると書き込み待機モードになる。JP2を開放するとEEPROMの容量いっぱい書き込み終了する。
 JP2を開放したままリセットすると書き込んだデータがRS232Cに出力される。

CPU基板のJP1を切断する。

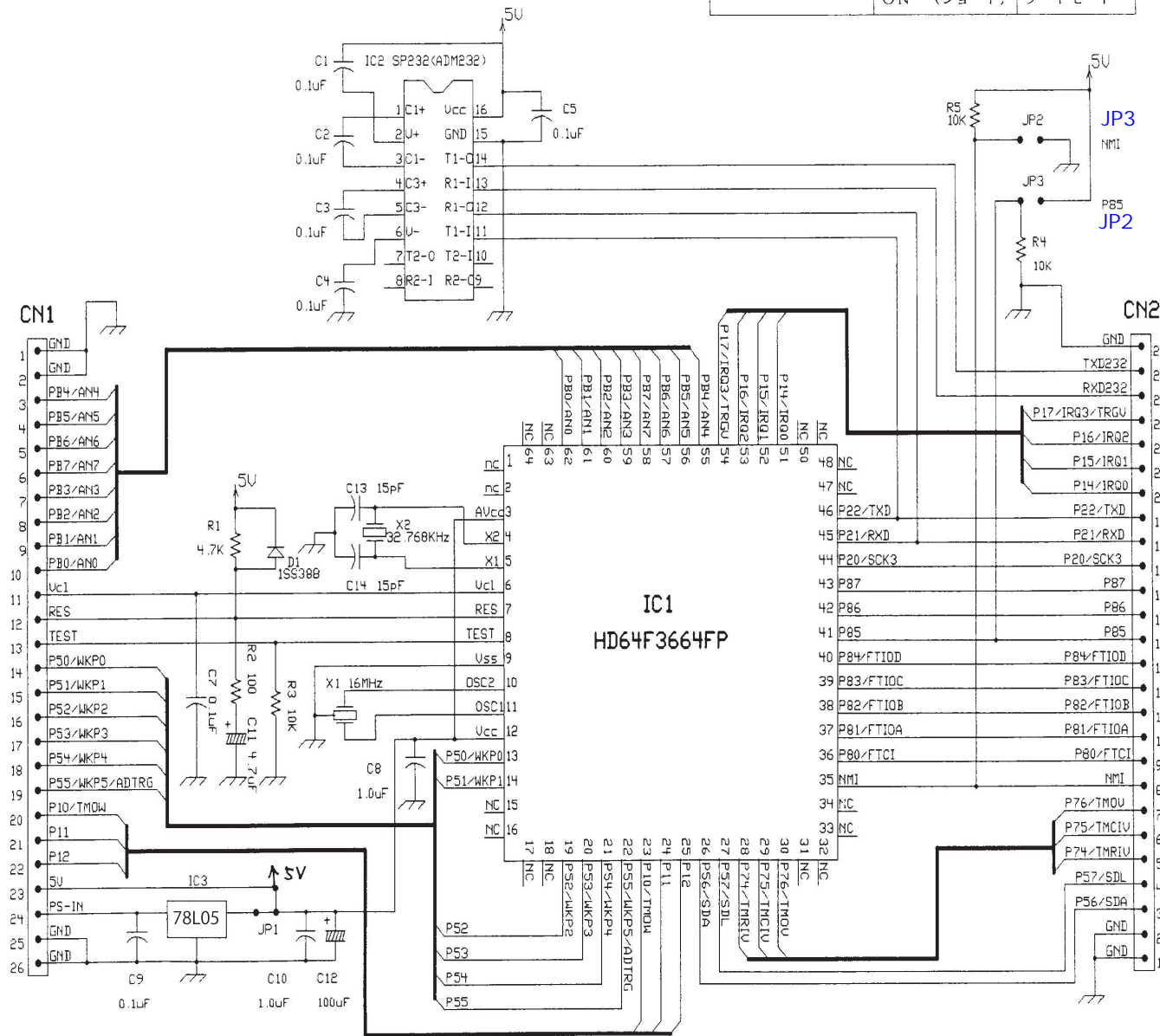


秋月電子 AE-GYRO基板
 赤字の定数は試験成績が目的に沿ったもの
 オリジナルのままでは時定数が短い
 回路の一部は省略

スイッチは必要時応じて設ける
 ニックダ4本で4.8V
 アルカリ3本で4.5V

| | | |
|-------|---|-----------|
| Title | | |
| Size | Number | Revision |
| A4 | | |
| Date: | 15-Feb-2009 | Sheet of |
| File: | C:\Documents and Settings\...sotsuron.sch | Drawn By: |

■回路図■



■ブートモードとJP2、JP3■
 H8/3664フラットマイコン基板は、基板上のJP2、JP3をOFF（オープン）で「電源をいれる」または、「リセットする」と通常動作モードで起動します。
 JP2、JP3をON（ショート）で「電源をいれる」または、「リセットする」とブートモードで起動します。
 JP2、JP3は付属のジャンパーピンを差すとON、取るとOFFになります。
 ベーボードのSW1を押すとリセットになります。

| | | |
|-----------|-----------|---------|
| JP2、JP3両方 | OFF（オープン） | 通常動作モード |
| | ON（ショート） | ブートモード |

■I/Oなどの注意■

- 1、P21、P22は、RS232用IC2に接続されています。
 P21、P22は、汎用I/Oとしては、使用できません。
 P21はRXDとして使用しない場合入力に設定してください。
 P22はTXDとして使用しない場合出力に設定してください。
- 2、P85はブートモード設定ピンですので、10KΩでプルダウンされています。
- 3、AVcc（A/D変換アナログ部電源ピン）は、基板上でVCC（5V）に接続されていますので、外部リファレンス電源は使用出来ません。
- 4、P56、P57は、I²Cバスインターフェイス用ピンです。通常のI/O出力して使用する場合は、Hレベル出力電圧が、約2.5Vです。他のI/OとはHレベル出力電圧が違いますので注意してください。

■メモリーマップ■
アドレス空間

